



第37回伊豆地区いちご品評会

金賞・銀賞を受賞したイチゴ生産者の皆さん

特産物のイチゴに笑顔の結果

1月13日第37回伊豆地区いちご品評会が開催

伊豆地区の主要作物であるイチゴの生産技術の改善、品質向上や消費の拡大を目的とした、伊豆地区いちご品評会が行われました。紅ほっぺ122点、ぎらび香29点、草姫3点の計154点の出品があり、そのうち、金賞2点、銀賞4点、銅賞8点の14点が選ばれ、岩田一さん(葦山山木)の紅ほっぺが最高賞である静岡県知事賞(金賞)を受賞しました。表彰式では金賞、銀賞の6名に賞状の授与が行われました。

災害時、市民の生活を守るため

1月27日NPO法人コメリ災害対策センターと協定を締結

地震や風水害などの災害発生時、または発生のおそれがある時に、市がヘルメットや長靴などの作業用品や日用品、食料品の供給を受けることができるよう、NPO法人コメリ災害対策センターと「災害時における物資供給に関する協定」を締結しました。同NPOは、円滑な物資供給を実現するため、全国の自治体・団体と支援協定を締結しており、当市が1,000件目の協定となります。



NPO法人コメリ災害対策センター 理事長と山下市長



鶴への豆まきで無病息災を祈る来場者

無病息災！鶴は外！福はうち！

1月29日第58回鶴ばらい祭が開催

1年間の無病息災を祈る「鶴ばらい祭」が、湯らっくす公園で開催されました。この祭りは、「源頼政が鶴」(サル頭、トラの胴体、ヘビの尻尾を持つ妖怪)を退治したという故事に基づき、新年の恒例行事として行われています。迫力のある鶴踊りでは、長岡中学校の生徒が練習の成果を披露しました。そのほか、伊豆中央高校弓道部による弓のデモンストレーションや芸妓衆による踊りなど、会場は大いに盛り上がりました。

自分の身は自分で守ろう

2月4日「遊んで学ぼう！防災講座」を開催

チーム防災いすのくにが「遊んで学ぼう！防災講座～台風への備え編～」を開催しました。同団体は、災害に強いまちづくりを目的に、市民提案型パートナーシップ事業の一環で、市と協力して活動をしています。一時避難防災かるた「いすのくに」や防災用紙芝居、防災ビンゴなど、子どもでも楽しめる防災講座を実施しました。参加者は積極的に発言したり、実際に防災グッズに触れ、防災の意識を高めていました。



一時避難防災風呂敷「ittoki」で実践練習をする参加者



パンの街を全国に発信

1月21日～22日 第17回パン祖のパン祭を開催

パン祖のパン祭が2日間にわたり開催されました。会場の葦山時代劇場では、パンオブジェのお披露目や市内外の有名店のパン販売などが行われました。全国高校生パンコンテストでは、全国から331作品の応募があり、杉山小雪さん(静岡農業高等学校2年)の作品「ライ麦ブロード～穀物の香り～」が見事パン祖のパン祭大賞・農林水産大臣賞に輝きました。



第17回 パン祖の パン祭



- ①全国高校生パンコンテスト実技審査
- ②大賞を受賞した作品
- ③選手によるプレゼンテーション
- ④大賞に輝いた杉山小雪さん
- ⑤目を光らせるコンテストの審査員
- ⑥ちびっこパン作り体験教室
- ⑦カリフォルニア・レーズン協会宣伝部長「ズンちゃん」
- ⑧パン当てゲーム
- ⑨親子で体験！パンゲーム
- ⑩パン生地伸ばしコンテスト
- ⑪多くの人でにぎわう会場
- ⑫パンコンテスト出場者と記念撮影

